

#### 〈入学者の受入れに関する方針〉

本学では入学者確保の根本方針を「人間に強い関心を寄せ、広く社会に貢献することをめざす学生」としてホームページに明示している。

各専攻では、その根本方針に基づき、以下の通り、各専攻の学習成果に対応する入学者受け入れの方針を定め、入試ガイド(募集要項)に掲載している。

#### 〔こども教育専攻〕

- ①保育・教育に関心があり、学ぶ意欲と向上心を持つ学生。
- ②地域や社会の一員として貢献しようとする意識を持つ学生。
- ③良心に従い、温かい思いやりと心をもち他人との円滑な交流を好んでできる学生。
- ④目標に向けて努力する学生。

#### 〔看護学専攻〕

- ①人々の健康を支えるという側面から問題意識を持ち、看護の実践に取り組む志を持つ学生。
- ②相手を思いやり、周囲と協力していく姿勢を持つ学生。
- ③物事に対し、確かな考えや意見を持つ学生。
- ④柔軟な発想と論理的思考力の基礎となる学力を有する学生。

#### 〔リハビリテーション学専攻〕

- ①セラピストの仕事に魅力を感じる学生。
- ②人を思いやり、相手の立場に立って物事を考えることのできる学生。
- ③人とのコミュニケーションが好きで、仲間と協力し合うことができる学生。
- ④自己を律することができ、根気よく努力できる学生。

#### 〔専攻科〕

##### 〈地域看護学専攻〉

- ①保健師教育の基礎となる着実な看護基礎能力を有し、それらをさらに高めようとする学生。
- ②地域の人々の生活と健康に関心を持ち、柔軟な思考で地域の人々に関わっていかうとする学生。
- ③保健師として幅広いフィールドで活躍する意欲がある学生。

##### 〈助産学専攻〉

- ①自ら積極的に、助産学専門領域における知識・技能の修得と、助産の実践を行っていかうとする学生。

- ②助産師としての能力と品性を磨き、使命感ををもって社会に貢献する意思のある学生。
- ③人との関わりを大切に、多様な価値観を認めながら、コミュニケーション能力をさらに高めようとする学生。

#### <リハビリテーション学専攻>

- ①向上心、研究心、探究心をもち、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の知識や技術をさらに深め、発展させようとする意欲のある学生。
- ②人の話に傾聴し、相手の主張や気持ちを受け止め、理解したうえで自分の意見を述べるができる学生。

総合人間学科各専攻、専攻科ともに、入学者受け入れの方針は、入学前の学習成果の把握、評価を明確に示しており、本学で学ぶための意識と意欲、専門職として問われる人間的資質を求めるものとなっている。高等学校等での教育課程に基づいた基礎的な学力も重要ではあるが、人間力を重視する本学の姿勢が現れた方針となっている。

入学者受け入れの方針に対応して、総合人間学科各専攻ではさまざまな方法によって入学者の選抜を行っている。こども教育専攻・看護学専攻・リハビリテーション学専攻に共通する制度として、指定校制推薦入試、公募制推薦入試および一般入試の制度と、特技推薦入試の制度を設けている。公募制推薦入試では基礎的な学力のみを問う国語・英語・数学の3教科から、こども教育専攻の受験者は国語の1教科、看護学・リハビリテーション学専攻の受験者は2教科を選択する基礎教養試験と、面接試験との併用で総合的な人間力を問うている。一般入試では基礎教養試験に比べやや出題難度を上げた基礎学力試験を実施し、やはり面接試験との併用で人間力を問う試験を実施している。指定校推薦入試、特技推薦入試では高等学校での活動に重点を置いた観点で資質を判断している。こども教育、リハビリテーション学専攻ではAO入試も導入している。希望者の本学への入学意欲と保育・医療職に対する意欲に重点を置いた入試であり、他の入試方法とは異なった個性を持つ学生を確保する役割を担っている。

専攻科の各専攻では2種類の方法によって入学者の選抜を行っている。地域看護学専攻・助産学専攻・リハビリテーション学専攻に共通する制度として、本学総合人間学科看護学専攻・リハビリテーション学専攻3年生（以降「内部進学者」と言う）を対象とする内部進学者対象入学予定者推薦選抜を設けている。専願で志願する者を対象に、志望理由書、GPA等の学業成績、再試験科目数、欠席日数、実習評価、模擬試験成績、人物評価の7項目を審査し、推薦により入学予定者を決定する。もう1つの入学試験の方法は、地域看護学専攻及び助産学専攻と、リハビリテーション学専攻とでは相違する。前者は学科試験に加え、面接試験や書類審査の併用により人間力を問う試験となっている。後者は小論文試験に加え、面接試験や書類審査の併用によりこれも人間力を問う試験を実施している。